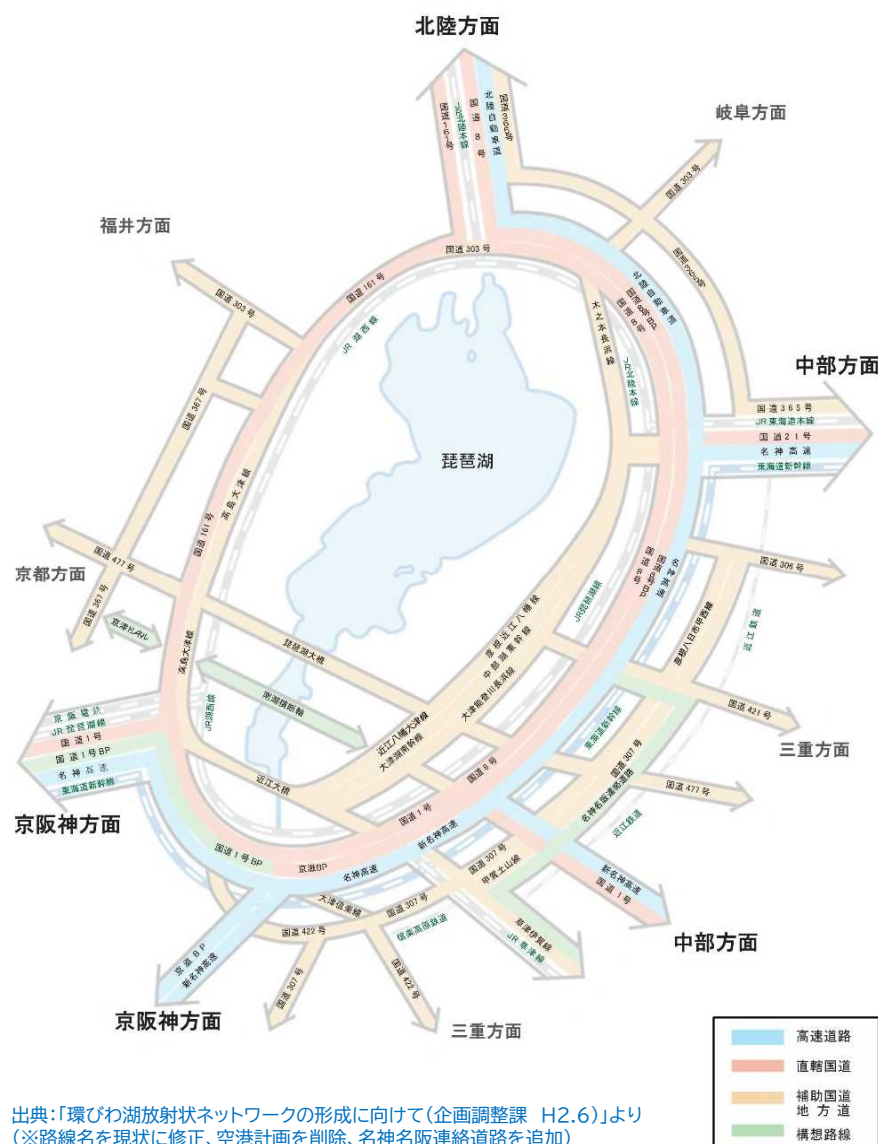


# 滋賀県の幹線道路ネットワークについて

## 滋賀県の道路ネットワークのイメージ



## ■はじめに

- 道路は、住居や施設を結ぶ最も基本的なインフラ
- 交通通結節点としての地の利を活かし、名神高速道路、国道1号、国道8号などの幹線道路が早くに整備された
- 本県は、琵琶湖を囲む形で市街地が分布しており、地域間を連絡する環状道路と、県外等への交流のための放射状道路を骨格とした幹線道路ネットワーク整備を進めている

## ■課題

- 現状は、自動車依存率が高い一方、道路整備率は全国平均を大きく下回っており、各所で渋滞が常態化するなどサービスレベルが低い状況
- 将来的には、人の流れは公共交通へのシフトを図りつつも、基本的な役割を果たす必要がある
- 物流については、今後一層高まるニーズに対応する必要がある
- 人口減少・高齢化の進行を見据え、あらゆる人が安全に移動できる道路整備が必要

## ■対応の方向性

- 自動運転などの新技術に対応し、すべての人が安全で快適に移動・利用できる新しい道路空間整備の検討
- 道路ネットワークの構想・計画について、物流・防災の観点から見直しを行う
  - ・ 概ね20年間の整備方針である「滋賀県道路整備マスタープラン」の改定を令和3年度に予定
- 構想・計画の実現、低いサービスレベルの改善に向け、整備を強力に推進
  - ・ 具体の整備計画である「滋賀県道路整備アクションプログラム」の改定を令和4年度に予定